海外協定校長期派遣留学報告書

氏名：遠藤　健斗

学部学科名：国際食料情報学部　アグリビジネス学科

留学先学校名　国立中興大学

1.留学の目的

留学の大きな目的としては二つあり。

一つ目は、語学力の向上です。大学で英語を学ぶだけではなく、実際に海外で生活し、英語で講義を受講して単位を取得することや、世界各国から集まる留学生と日常的にコミュニケーションを取ることで、実践的な英語力を身につけたいと考えたからです。

二つ目は、自分の研究したい分野が有機農業であり、台湾は日本と比較的に文化、考え方さらに地理的にも似ており、有機農業がここ数年で急成長している台湾で勉強することでさらに考えを深められると考えたから。

2. 現地での生活について

（住居、キャンパス、友達との交流、余暇の過ごし方など）

住居に関しては、学生寮で四人共同生活でした。部屋は日本人１人とポーランド人２人との生活で、文化の違いや価値観の違いで何度か揉めることはありましたが楽しく過ごせました。トイレ、シャワー、洗面所は部屋になく、共同で使用するためとても清潔とは言えないです。匂いもかなりひどかったです。毎週二回ほどフロア清掃は入るものの、使用方法が汚い人や生ごみを放置する人が多くいるセメスターだったのですぐに汚れていました。(フロアに住む人次第だと思います) キッチンは部屋にはなく地下に簡易的なものがあり 22 時まで使用可能でお金をチャージし使用する形でした。知り合いに電気 IH コンロを持っている人がいればお金を払わずに使えました。自分は炊飯器とエアフライヤーを購入し部屋で簡易的なごはんを作り自炊を行っていました。

キャンパスに関しては、とても広く自転車がないと回るのが大変です。男子寮から自分の学部棟までは歩いて 15 分ほどで YouBike という政府の３０分無料レンタルサイクルを使用すると近くまで行け時間短縮ができました。キャンパスは自然が多く、カフェやサブウェイ、学生食堂、コンビニなどがあり食事には困りません。一方で、トイレはほとんどトイレットペーパーがないので持ち歩く必要がありました。他に学校の施設として多くのスポーツ用のコートなどがあり気軽に好きな運動をすることができ、大きな図書館でテスト期間は 12 時まで勉強することもできるので施設は整って充実していると感じました

友達との交流はなるべく語学力向上のために、日本人とではなくほかの国の留学生と過ごしていました。台湾では外食文化なので、学校終わりに友達と毎日夜市やどこかにご飯を食べに行くのが日課で楽しみでした。またレンタル自転車でいろんなところを散策したり、みんなでお酒を飲んで談笑やスポーツ観戦などをしたり、多くの思い出を作りながら、いろいろな価値観や考え方を学びました。近くの市民体育館のジムにみんなで行き、トレーニングをしたり、学校のプールで泳いだり、サウナを楽しんだりもしました。

連休や休日は旅行をたくさんしました、台湾に観光に来た人はいかないような秘

境スポットや地域、離島へ行け、とても満喫しより台湾の文化や国を知ることができたと感じています。

3. 留学を通じて学んだこと

留学を通して最も強く感じたことは、日本の素晴らしさです。日本で生活している時は、当たり前だと思っていた清潔な街並みや公共交通機関の正確さ、道路や設備の整備、治安の良さなどは、海外では決して当たり前ではありませんでした。海外で生活したからこそ、日本の生活環境の快適さや便利さを改めて実感し、日本という国の魅力を再認識することができました。また、多くの外国人が日本に対して非常に良い印象を持っていることにも驚きました。自分が日本人であることを伝えると、日本の文化や食べ物、アニメ、観光地などについて詳しく話してくれる人が多く、日本への憧れや尊敬の気持ちを直接聞く機会が何度もありました。その経験を通じて、日本人としての誇りを改めて感じることができました。

さらに、家族や友人の存在の大きさも実感しました。普段は近くにいることが当たり前でしたが、海外で長期間生活することで会えない時間が続き、その存在の大切さや支えられていることを改めて感じました。

4. 留学経験を今後どのように活かしていきたいか

今回の留学を通して、日本の魅力や課題を客観的な視点から見ることができました。日本には世界に誇れる文化や治安、サービス、礼儀など多くの魅力があります。今後は、その良さを守りながら、日本をより良い国にするために、自分にできることを積極的に行動へ移していきたいと考えています。

また、留学中に培った語学力や異文化理解、積極性をさらに伸ばし、世界で活躍できるグローバルな人材を目指したいです。今後も英語学習を継続するとともに、大学で研究している有機農業やマーケティングの知識を深め、海外で学んだ経験を日本の農業や地域社会の発展に還元できるよう努力していきたいと考えています。

この留学は、語学力や専門知識だけでなく、人として大きく成長するきっかけとなりました。この経験を今後の学業や研究、そして将来の社会人生活に活かし、自分自身の成長につなげていきたいと思います。